



学校通信

ともだ

青梅市立友田小学校

4月号

R5.4.6発行

校長 藤原 輝正

子供一人一人の笑顔が輝く友田小学校を目指して

桜花爛漫、子供たちの元気な姿と明るい声とともに、新年度がスタートしました。

お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。今年度は、28名の新入生を迎え、全校児童152名での出発です。

この度、友田小学校に新たに赴任しました ふじわら 藤原 てるまさ 輝正 と申します。市内の河辺小学校で5年間、第四小学校で3年間校長を勤め、異動して参りました。友田小学校の校歌には、「多摩は流れる」「桑の大木」「前の山には小鳥もうたう」の歌詞がありますが、豊かな自然環境と温かい保護者・地域の方の中で育つ子供たち。教職員一同、力を合わせて指導して参ります。

さて、新年度のスタートにあたり、「黄金の3日間」を大切にしていきたいと思います。

どの子も4月最初の3日間は、新鮮な気持ちを抱いています。クラスの新しいルールや教師の方針なども受け入れやすいという意味で貴重な3日間です。4月最初の3日間に、クラスの様々なルールややり方を決め、一年間の個人目標や学級目標も定めていきます。まさに「最初が肝心」です。子供たちの生活リズムが軌道に乗るようご配慮いただくとともに、意欲の継続へ励ましをお願いいたします。

友田小学校の教育目標は

- 明るく元気な子…命を大切にし、仲間と共に希望をもって生き生きと生活する。
- すすんで伸びる子…課題をもってよく聞き、自ら学び、自分を表現する。
- 力を合わせてがんばる子…思いやりと責任をもち、協力して最後までやりぬく。

この教育目標を常に意識して、それぞれの分野で具体的な課題を設定し、実践していきます。教職員一同、「チーム友田小」を合言葉に、「子供一人一人の笑顔が輝く友田小学校」を築いてきます。

今後のマスク着用のついて

新年度の4月より、平常時の日常的な活動において、マスク着用を求めないことになりました。（教職員についても同様となります。）マスクをつける・つけないについては、ご家庭の判断が基本となりますが、熱中症が心配されたり、強度が高い運動に取り組んだりする場面では、全員にマスクを外すよう指導することはあります。また、混雑する場所や高齢者施設の訪問、感染拡大の心配な状況などで、着用を推奨することはありませんが、いずれにしてもつける・つけないの強要はしません。今まで行っていた、検温や感染予防対策（三密を避ける、換気の励行、必要に応じた手洗い等）は、引き続き行ってきます。給食についても、向き合わずにお話すること（大きな声でなく）は、許容となります。

退職教職員

転入教職員

HP には記載なし

転出教職員